

## 現代生活学科の授業科目紹介！（その3） ～「現代社会を読み解くb（生活と産業）」～

実践女子大学現代生活学科では、**1年生の段階から実社会と深く結びついた講義を多く提供**しています。「現代社会を読み解く b（生活と産業）」もそのひとつです。

**大学に入学した学生は近い将来、「仕事」について様々な関わり方**をすることになります。「仕事」に就職しようとする「わたし」。就職をした後は「会社」という一つの「社会」で生きる「わたし」。また、就職をするかどうかにかかわらず、「企業」が大きな力を持つようになった現代社会では企業の行動が私たちの暮らしや地域、さらには国のあり方や地球環境にまで影響を及ぼすようになっています。

この授業では講義形式の授業を中心としつつも、**ペアワークやグループディスカッションの時間**を多く取り入れて、

- ① 自分の**将来の「仕事」**を考える上で必要となる**基本的な知識と判断基準**を身につける
- ② **「仕事」がわたしたちの生活（個人の暮らし、地域、国、地球環境）に及ぼす影響**を理解できるようになる

ことを目標とした授業を展開しています。



〔担当教員紹介〕 野津 喬（のづ たかし）

実践女子大学現代生活学科 准教授。現代生活学科の理念に共感し、16年勤務した中央省庁を退職して2014年に着任。

専門は公共政策学、公共経済学。

研究領域は食料・農業、エネルギー、環境、知的財産など。



## 「現代社会を読み解くb(生活と産業)」を受講して —現代生活学科1年生の感想—

実際に社会に出て転職した先生の話ほとと興味バ  
もります。自分たちは学校という社会的には守られた立場に  
あり、その中での授業は自分の将来のことを少し考え  
ながら受けれる授業です。

これから先、私たちが身近に触れることになる  
トピックを分かりやすく丁寧に教えてくださる  
としても良い授業です。

授業の進め方は、穴うめ形式のプリントを使って  
いますが、話を手くた"けて"はなく、他の人との  
話し合いの時間があるので、いろいろな意見が  
出て、自分の考え方が広がります。

今ではこのくらいいい(いい)仕事や転職の好あるビジョンが  
この授業を通じて少しは、おしえてほしい。

実践女子大学現代生活学科では、これからの日本や世界の経済、社会の大き  
なテーマである「環境」、「メディア」、「自立社会」について学びます。

1学年60人という少人数教育の利点を活かして、アクティブ・ラーニング  
(注)形式の授業を多く取り入れることによって、学生の主体的な「学び」の姿  
勢を育てています。

(注) アクティブラーニング・・・大人数の受講生に対して講師から一方通行で説明を行う「講義形式」の教  
育とは異なり、学習者の主体的な参加を取り入れた講義・学習法

現代生活学科は、「環境」を理解し、「メディア」の技術と考え方を身につけ、  
「自立」した社会と暮らしづくりを構想し、実践するための教育を展開します。  
私たちとともに、女性ならではの視点で、新たな社会づくりを考えていきませんか？

実践女子大学 生活科学部 現代生活学科 News! 2014年第6号

編集・発行 実践女子大学 生活科学部 現代生活学科 2014年6月20日発行

〒191-8510 東京都日野市大坂上4-1-1 Tel. 042-585-8918 Fax. 042-585-8919

実践女子大学 <http://www.jissen.ac.jp/>

現代生活学科 <http://www.greenphronesis.org/>